

さけます情報

北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖

かとう まさひろ

加藤 雅博 (北海道水産研究所 さけます生産技術部 技術課)

2015年の北太平洋

漁獲数

NPAFC 統計データによると、2015年1-12月の北太平洋の漁獲数は5億680万尾で、前年3億8,885万尾の130%でした(図1A)。

これを魚種別に見ると、カラフトマスが最も多い3億1,320万尾で全体の62%(前年比151%)を占めています。次いでサケが1億820万尾(構成比21%,前年比111%)、ベニザケが7,428万尾(構成比15%,前年比108%)と続き、これら3魚種で全体の約98%を占めています。ギンザケとマスノスケは、それぞれ906万尾(前年比72%)、200万尾(前年比90%)となりました(図1A)。地域別では、アラスカが2億6,831万尾と最も多く、以下、ロシア1億8,787万尾、日本4,159万

尾、カナダ543万尾、アラスカ以外の米国(ワシントン、オレゴン、カリフォルニア、アイダホ州)345万尾、韓国16万尾と続いています(図1B)。

人工ふ化放流数

2015年1-12月に各国から人工ふ化放流された幼稚魚数は51億6,240万尾で、前年53億1,104万尾の97%でした(図1C)。

魚種別ではサケが32億285万尾で6割以上を占め、これに次ぐカラフトマス13億6,453万尾と合わせると全体の9割近くを占めます(図1C)。地域別では日本が18億7,434万尾、アラスカ16億4,899万尾、ロシア10億2,333万尾、カナダ2億9,476万尾、アラスカ以外の米国2億9,333万尾、韓国2,765万尾となっています(図1D)。

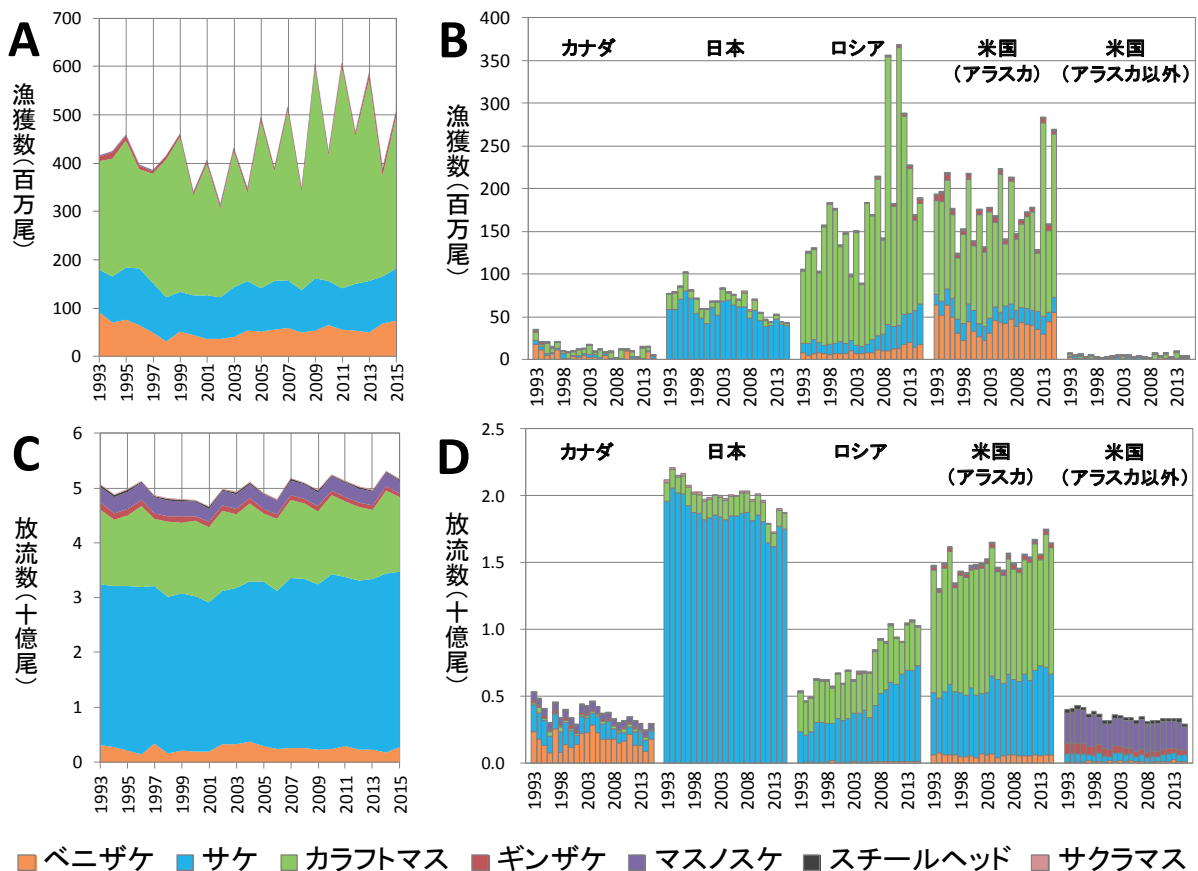


図1. 北太平洋におけるさけます類の魚種別漁獲数(A)、地域別魚種別の漁獲数(B)、魚種別人工ふ化放流数(C)及び地域別魚種別の人工ふ化放流数(D)。

A及びBは「NPAFC Pacific salmonid catch statistics (updated 20 July 2016)」, C及びDは「NPAFC Pacific salmonid hatchery release statistics (updated 20 July 2016)」より作成(参照2016-11-24)。ただし、2011年の放流数は未収録となっている本州太平洋サケ放流数を加算。アラスカ以外の米国はワシントン、オレゴン、カリフォルニア、アイダホ州の合計。韓国は他国に比べ漁獲尾数・放流尾数ともわずかなため図中では省略。

2016 年度の日本

サケ

2016 年度の来遊数（沿岸漁獲と河川捕獲の合計）は 12 月 31 日現在で 3,140 万尾、前年同期比 71%となっています。このうち北海道では 2,578 万尾（前年同期比 70%）と、24 年振りに 3,000 万尾を下回りました。本州太平洋側では 497 万尾（前年同期比 83%）と、2011 年度以来の低水準となっています。また、本州日本海側では 64 万尾（前年同期比 51%）と前年度を大きく下回っています（図 2）。採卵数は、12 月 31 日現在で 18 億 4,783 万粒と、前年同期の 91%となっています。このうち北海道では、11 億 9,883 万粒と採卵計画数の 99%の種卵が確保されていますが、本州では、岩手県で台風 10 号によって増殖施設が大きな被害を受けたこともあり、12 月 31 日現在で、6 億 4,900 万粒と前年同期の 84%に留っています。全国の放流数は計画（17 億 6,443 万尾）を下回る見込みです。

カラフトマス

主産地の北海道における 2016 年度の来遊数は 890 万尾で前年度比 423%でした。カラフトマスの来遊数は最近 5 年ほど低迷していましたが、2016 年度の来遊数は 2009 年度以来の水準となりました。採卵数は、根室海区で前年度の 68%の捕獲数に留まったことから、1 億 3,632 万粒と計画数の 79%となりました。放流数も計画（1 億 3,840 万尾）を下回る 1 億 900 万尾ほどになると見込まれます（図 3）。

サクラマス

2016 年度の北海道における河川捕獲数は 6,929 尾で前年度比 101%となりました。今年度は前年度に続き、比較的少ない捕獲数でした。地域別には日本海区では前年度比 347%の捕獲数でしたが、オホーツク海区では前年度比 43%の捕獲数でした。採卵数は 699 万粒で、計画数 502 万粒を十分満たす数となりました。なお、2011-2016 年度の本州河川捕獲数については現在確認中です（図 4）。

ベニザケ

2016 年度の北海道 3 河川（安平川・静内川・釧路川）における河川捕獲数は 268 尾で前年度比 377%となりました。

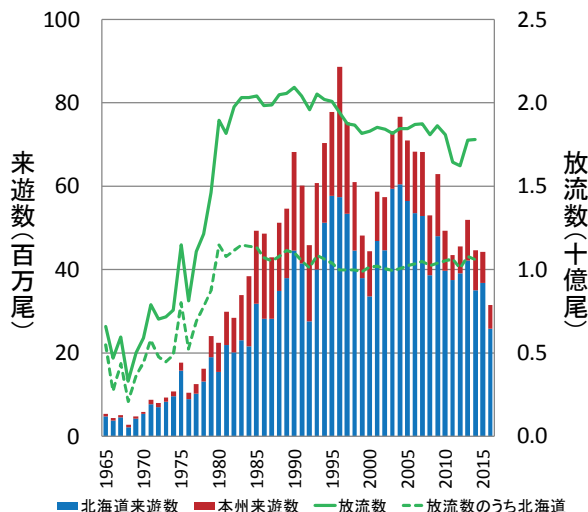


図 2. 日本におけるサケの来遊数と人工ふ化放流数. 2016 年度来遊数は 12 月 31 日現在.

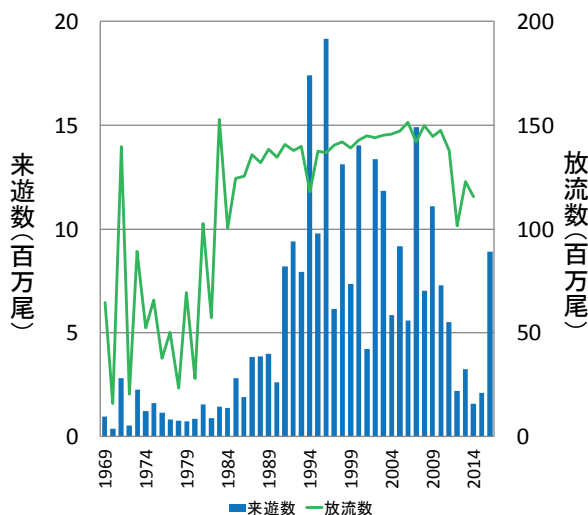


図 3. 日本におけるカラフトマスの来遊数と人工ふ化放流数

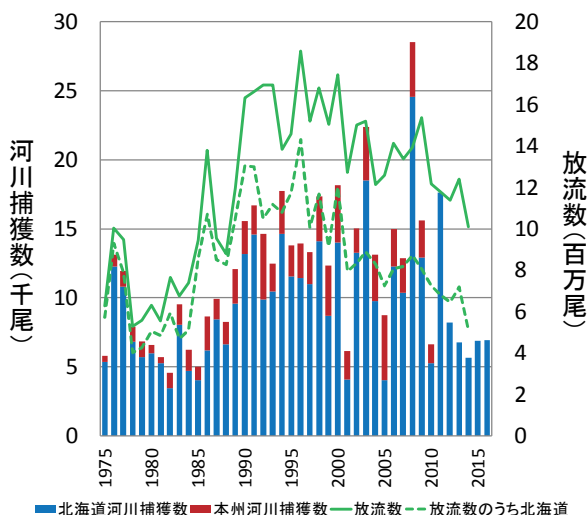


図 4. 日本におけるサクラマスの河川捕獲数と人工ふ化放流数. 2011-2016 年度の本州河川捕獲数は確認中.